日刊 昭和21年6月1日 昭和24年2月28日 （1）（除日曜）第三種郵便物認可 運輸省特別扱承認第238号

いわき民報

夕刊 昭和29年7月30日（金曜日） 第2514号

夕刊 いわき民報

発行所
平市田町四八番地
いわき民報社
電381 1222

じゃんがら
地方への御中元贈答品にぜひ御利用下さいませ
本舗 みよし

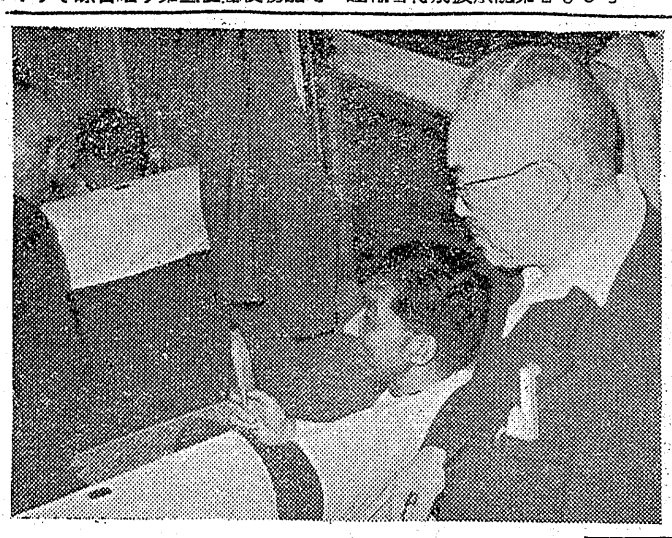
千圓足らずのレール代 一萬二千圓に化ける

平市土木課にカラクリ潜むか

（昨報）平市飯野下荒川部落から埋立工事の請負いを取上げた問題は、市土木工事の不明朗さを暴露したものであるが、問題の焦点は部落の請負金額二十九万八千円のほかに、市が現物給与する土砂運搬用のレールとその施設費二万六千円である、部落側がこの超過分の一万六千円を含んで、二十九万八千円で全部工事をするということになると、市が一万六千円儲け部落側もことなく仕事が出来るのである、強口委員長に、この二万六千円を摘発された際、市当局は区長に対し実情を述べ、直接工事をやりたいなら二万六千円の運搬レール施設費を含むよう一応交渉する必要があつた、渡部土木課長は一回もこのような折衝を行なわすにいきなり緊急土木委員会を招集して「違法であつた」と改めて業者指名を持ち出している、然も一万六千円のレール損料について渡部課長は委員会の質問に対し失対事業に使用しているレールの損料が一カ月一㍍十円であるから二百㍍を複線にして一万二千円かゝると説明したところが、実際に失対事業に借りているレールは、一㍍十円でなく五・五㍍の長さのもの一本十円と契約が成つている、然も埋立地に使用するレールは、設計に依ると「百五十㍍以内」とあるから複線にして二百㍍あれば間に合うことになるようだ

このように計算すると五・五㍍のレール五十六本あれば足りることになり、この金額がナント五百五十円也で、若し渡部課長のいうように二重複線にし六百㍍借りたとしても僅か千九十円也で、レールの損料を加えても請負金額は三十万円にはならない、渡部土木課長が千円足らずのレール代を何故に一万二千円と説明したか、これは単なる設計誤算と見逃せない、残る一万円余をどう処分するつもりであつたか業者請負の場合、設計通りレール損料一万二千円と見るつもりか、此処にも何かカラクリがひそんでいるように思われる

本来ならレール損料一万二千円也を見こんだのは設計違いで、実際はレール損料入れても三十万円に満たないことが判つたのだから、三度委員会を招集した指名を取消し、前の下荒川部落と随意契約を結ぶべきであるが、このまゝ土木業者に入札させるか市当局の態度が見ものである



オレにやらせねば

強口委員長慾の皮の失敗

◉…強口委員長が何故に三十万円位の小さい仕事に、このようにこだわつているか？それは終得から来ている、問題に成つている新埋立地の隣りに、磐城土建が現在張場を張つて同じ埋立工事を行つている、従つて自分が仕事をすると飯場から工事施設一切をそのまゝ活用出来るから、新しく事業場を作ることに比べると大きい利益になる、結局利益に目がくらんでの行為と見られている

◉…厳格な規則からいうなら、或いは総額三十一万四千円で土木業法に触れるかも知れぬが、、分割請負の前例もあり、現物給与で請負金額が三十万円以下なのだから理事者さえガツチリしていたらこのような問題は起きないのだが、強口委員長の言行にはすべてこれ易々諸々、土木課員など萎縮し切つている

歩バネはさせぬ

渡部課長、阿部區長に確約

平市の不信行為に憤慨した下荒川部落民は、解放農地の契約を解除するといきまき結末がどう落つくか注目されているが、地元代表の阿部区長に対し、渡部土木課長は業者の指名入札に決つたが、誰れに落札しても、歩バネをせぬようにして、そのまゝ部落が下請工事をするように努力するからあまり騒がぬようにしてくれと極力慰撫に努めているため、阿部区長も一応業者請負いの結果を見ることになるらしいが、業者の請負と決つた場合、工事に対する税金が当然その請負者に課せられることになるので、いくら事情が内蔵しているといつても、一銭も儲けずにそのまゝ部落へ引渡すことは容易に出来ない、従つて業者に請負が決ると、部落にとつては直接請負うのと多少違つた形になり、損失は免れないものと見られている

◉…新たに五名の業者が指名された、然し結局隣地に強口委員長の張場があるのだから、磐城土建に談合するだろう（若し他の業者に落札したとすれば本紙の記事の影響だ）そのように業界挙げて強口委員長の尻ぬぐいがつているようだ

◉…徳義上から行くと、自分が委員長であるから、市の請負は遠慮すべきところだが、彼に限つて、自ら全部仕事を取ろうとするところに不明朗がある、平市の土木行政は、業界のボスである強口委員長が辞めない限り、明朗化は望めない、誰れが彼を委員長にさせたか？その因つて来る元も究明する必要があろう

高松宮さま御通過

諸橋市長らお見送り

北海道の小樽、旭川で行われたヨットレース山岳部の夏季大会に総裁として御出席になつた高松宮さまは帰京の途中、二十九日常磐線上り急行午後四時三十七分平着列車で平駅を通過した、この日運輸県会議長、諸橋市長、井沢地方事務所長、労賀次長、隆保健所長、新妻次長らがお見送りに出て平市田町パールが腕によりをかけて特製したという鯛のムニエル、若鳥のチーズ焼き、御飯等を詰合せた豪華な夕食をお贈りした、一行がお見送りに出たがどこに高松宮さまがお乗りになつているのかわからず、ウロウロしていたが高松宮さまはこの時には平駅についたとも知らず、ウトウトねむつており一行に発見されてビツクリした格好で眼をさました、一行はまもなく名刺を発し出し、諸橋議長は愛想よく握手した、同乗車の話では「一緒にのつていましたが仙台は同じく見送りがあり、平まではどこもありませんでした」と語つていたが、ワイシヤツ一枚の解放的態度が印象的だつた（写真は平駅で見送りを受ける高松宮さま）

選挙長が人權侵害

鹿島農委 辭退の三氏が提訴

磐城市鹿島地区の農業委員選挙にからむ立候補抑圧問題は、支所長で選挙長三島五一郎氏直接の行為だけに結果は注目されているが、辞退組の赤坂稔、鈴木秀雄の両氏が世評通り官選委員に選任（市長推薦）されたことから、強制的に辞退させられた残りの人々は極度に憤慨「最初からボスの策謀に依つて言葉を抑圧したものである」と二十八日辞退者の渡辺保直、新妻一行、草野好文の三氏は、選挙長三島五一郎氏(五)を相手取り、平法務局へ人権侵害ゞでそれぞれ提訴した

尚このような策謀と不正に依つて行なわれた鹿島農委の無競争当選無効であると前記三氏は三島選挙長を選挙干渉で更に告発すべく研究を進めて居り、選挙管理委員会でも選挙当時の状況を調査している模様である

申告事實の要旨

一、磐城市の旧鹿島地区では鹿島農業委員会の委員選挙を去る七月十六日執行することになつたので申告者渡辺保直は同月六日立候補の届出を了した

二、然るところ七月八日午後一時半鹿島支部から右選挙に関し懇談致したいから午後二時迄に支所に参集されたいとの通知を受けたので早速同庁に出頭したところ、支所長は宿直室で酒をのんでいたが定刻より一時間ほど遅れて懇談会は宿直室で開かれ之に列席したものは左の通り

志賀久馬、佐藤長近、鵜沼忠美、箱崎久雄（以上は村の顧問格）坂本国治（下矢田から立候補した高木長の代理）箱崎金雄（走熊から立候補した新妻一行の代理）田口長次郎（大字久保から立候補したもの）鈴木金蔵（大字御代から立候補した鈴木幸の代理、渡辺保直（申告人）

三、被告者は開催の趣旨を述べるため発言し、先般磐城市長選挙に際しては選挙違反を出したから今後の農委選には一切これを避ける為一字一名の候補者を挙げて無競争にしたい旨を話され、特に田口長次郎と渡辺保直の両名は自称候補者で不利だから立候補を断念したらどうかと放言された

四、申告者は自称にせよ何人かの支持者はあるのだからこの席上即答は出来ないと回答し結論するに至らず散会した

五、七月九日午前中三島支所長は自ら申告者の家を訪ね来り部落平和のために立候補を断念して県と懇談するので、それほど迄に無競争を希望されるなら辞退しましようと返事をした、併しその後告は裏面でボスが暗躍したゝめであることが判明したので申告者は辞退しない腹をきめていた

六、ところが七月十一日午後八時再度三島支所長は佐藤長近を帯同して申告人宅を訪ね来り、立候補辞退を迫り立候補者中、赤坂稔、鈴木金蔵、田口長次郎も辞したのだから君も断念してくれと執ように要望するので自分（申告者）一人のために無競争当選が破れるようではと考えその場で不本意ながら辞退届を作成して支所長に手交した

七、その結果立候補者十名に落着き無競争当選者が発表されたが斯くの如きは公選の本意を害し非民主的な策謀であつて人権を抑圧した不法な行動と思うので怒に人権侵害の申告をする次第である

申告人 渡邊保直

町村議長會

六日午後一時から石城地方事務所会議室で町村会議員会議を開く、協議事項は県農業議員会開催について

危機突破大會

あすのスローガン決る

常磐地方危機突破中小企業大会は三十一日午後一時から平市大工町労働会館に各種の中小企業者約百名が参加して行われるが、提出されるスローガンは次の通り

❶中小企業基本法の制定❷中小企業専門金融機関の資金源の強化❸小口長期運転資金融資制度の確立❹諸法の微收猶予、分割払最大限を望む❺出炭四千八百万屯確立のため全国石炭会議の開催❻中小企業協同組合の奨励優遇策の実施

金融公庫誘致で出福

平市では国民金融公庫浜通り支部を平市に誘致するため先きに国民金融公庫、大蔵省等に陳情中だつたが三十日、関場商工課長、大泉商工委員長、草野商工会議所専務理事、国民金融公庫平協力会、永山理事ら一行が県当局並びに国民金融公庫福島支部の協力を得るため出福した

財政委員會

平市では財政委員会を三十一日午前十時から開き、自由労務者の真幸手当支給の件、中平窪簡易水道完成に伴う部落管理の件など審議する

四村議長會

三十日午前十時から夏井村中学校で四村議長会を開いた、協議事項は夏井、豊間、高久、草野四町村の合併促進問題

植田吏員が地曳

植田町役場吏員によつて組織されている厚生会の総会は三十一日町役場で開催し諸事項協議後植田海岸で地曳網が行われる

人事消息

◇菅野健一氏（県水試場長）新は遠洋漁船設計打合せのため漁船協会に三十日上京、三十一日帰市の予定

天気予報

廿日

【今晩】北東の風曇、一時小雨

【明日】東の風曇、日中時々晴、遅くなつて一時小雨、海上今晩はおだやか、明日は多少風波が出る、朝晩は見通しが悪い

流行はついにこゝ迄きました
プラスチツク製品は夏を涼しく生かすものですが、ハンドバツグにしたら大へん粋なものが出来ました。しかもその中には夜、青く光るものもある
●プラスチツクハンドバツグ 七〇〇円より
●ビニール〃 三三〇円―千五百円
御中元に商品券
越藤 小名浜 平市

平競輪
主催 平市
先頭責任制レース実施（13レース）
場外 福島市 郡山市 若松市 平市
8-6783-15

セイペンニュースNO79
蜂蜜家庭療法 其の一
凡て一回の使用量は小盃一杯程度
一、乳児幼児の栄養補給、大人の強壮剤
二、「ヤケド」の時胡麻を搾り蜂蜜を混ぜ患部にぬる
三、口ぶる、口中の荒、ガコウソーに蜂蜜ぬる
四、耳の痛む時二三滴脱脂綿につけて差込む 中耳炎に成らずに済む
五、蜜中ルチンがふくまれて居るので高血圧の人に最も良い
滋養強壮剤として甘い パンにつけておいしい
今週の特売（十、日）
クロパン 特価 一〇〇匁 四十五円
カタパン 〃 〃 五十円
外に特売品を除き一割引券進呈
カタクならない栄養パン
パンとオヤツの店 平製パン
かど町電二一一五七

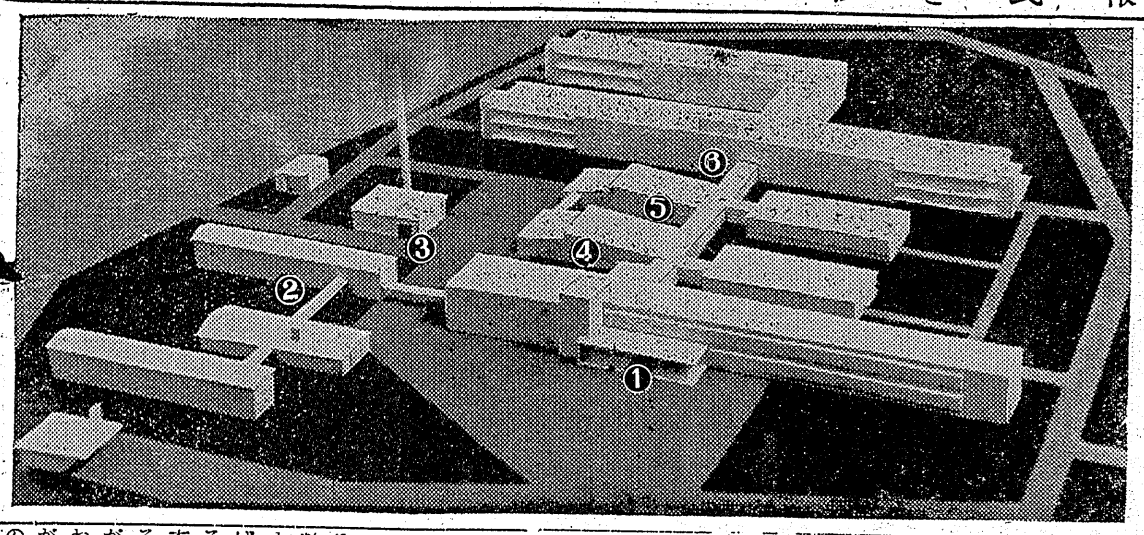
立喰 亀寿司
平市田町東銀座電一六九

土地付家屋
▽和室三 台所 湯殿 電水完備▽格安 至急売りたし
▽平駅より十分
▽御相談に応じます
問合せ場所電話（平）一八三八番

勞災病院工事進む

九月に診療開始

來年末に完成　東北一を誇るもの



〃炭鉱その他の災害関係労務者用には最も完備された病院が必要だ〃と中央にはたらきかけた関内、松井両代議士らの労災病院新設運動が実を結び、内郷市金坂地内に東北一を誇る総鉄筋コンクリート造り白亜の福島労災病院が本年六月以来戸田組の手で鋭意建築が急がれているが本年九月初旬本館が完成、引き続き二期工事に入るなど「明るい病院ホテル」を目標に設計された同病院の全貌は来年末までには実現の見込がついて来た

東北地方建設局の設計による福島労災病院は労働者のモットーとする「明るい病院ホテル」化のため再三設計を変更し完成したもので三年間継続事業で内郷市金谷地内の一万一千五百坪の広大な敷地に本年六月から第一期工事（工費二千七百万円）として本館から着工し常磐炭鉱、古河鉱業、大日本炭鉱、日本水素、呉羽化学、磐城通運、磐城貨物、品川白煉瓦、常磐交通、堀江工業、磐城土建、錦鉱業らが十四台のトラックを提供し資材の運搬に協力を始めたゝめ、工事は予期以上に進み九月初旬には本館二階建て五百四十六坪が完成直ちに診療を開始する、第二期工事（工費六千五百万円）は八月五日から着工し来春には病舎三百十九坪、看護婦宿舎七十坪、厨房八十坪、ボイラー室七十五坪、車庫などが一部竣工する予定で百名近くの入院は可能とされている

第三期工事は来年二月から引き続いて実施され、延二千七百二十三坪に及ぶ（十四坪）の労災病院の偉容は来年末でろに予定されている

（写真は福島労災病院の模型①本館②看護婦宿舎③ボイラー室④⑤厨房⑥病棟）

合奏會開く

一日夕常磐市

常磐市青年文化協会「ジュピター」では八月一日午後六時から同市公民館でレコードコンサート並びにヴァイオリン、フルート合奏会を開く

▼曲目水のタワムレ（ラベル）斎の祭（ムソルグスキー）幻想交響曲（ベルリオータ）フルート協奏曲（モツアルト）▼演奏者ヴァイオリン数馬卓氏、フルート沖田州

機關誌を發行

平凡友の會支部

雑誌「平凡」友の会平支部では二十六日第二回集会をマルトモホールで開き、機関誌発行その他のことについて協議した結果、八月二十六日付で創刊号を発行し二カ月に一回の予定で発行する、また来る八月一日郡山市で開かれる県連合支部結成式に支部長以下会役員が出席する

講師を圍む座談會

尼子會で日程を決定

平市尼子会では二十九日夜七時から田町ブラジル日本間において明卅一日から開く夜間夏季大学開催に伴う座談会の開催に就いて協議左の通り決定した、これは公会堂で行う夏季大学とは別個に各講師を囲んで直接意見の交換を行うもので多数の参加を望んでいる、会費百円程度、開催日程

▼七月三十一日後四時、二丁目越乃家で講師土屋潤氏

▼八月一日後四時、越乃家で講師高木健夫氏

▼二日後二時、田町サロンで講師近藤日出造氏

▼三日後二時半、サロンで講師中島健蔵氏

▼四日後二時、越乃家で講師山根銀二氏

なお八月五日後六時から九時まで田町大真で読売新聞社論説委員千葉茂男氏を招き「政界裏ばなし」と題する会が予定されている、会費は三百円

講演會開く

一日二カ所

日本弘道会江名支会（支会長太滑左衛門氏）では一日午後二時より江名隣保館と永崎公民館の二カ所で講演会を開く、慶大教授NHK解説者塚本寿一氏「世界に於ける日本の地位」日本女子大教授氏家寿子女史「さいわいを作る手」

お膳据狂騒曲

○…市議で土建屋で土木委員長—喰わねえ奴が馬鹿なのさ—同情派

—またか、呆れたね—市民

—お膳をひつくりかえせ—飯野部落民（飯野　太郎）

土木行政暗黒化

暗い道路だネ—市民（平　凡子）

べからず集

すべからく土木委員長の判なかるべからず—高山土牛

稲作急に立直る

二割減ぐらいになる模様

平市　病虫害防除に大童

愈々本格的な夏をむかえ水稲は成熟良い分けつを始めたので農民もホットしており、この調子でゆけば平年作の二割減ぐらいにおさまるだろうと平市農作物病虫害防除本部（市農務課）では安堵している、だが急に湿度が上がつて成育が発達する時には必ず病虫害に襲われる危険があり、この対策如何が今後の收穫に大きく左右されるので同本部では部落毎に結成されている百六十の防除班（一班平均十戸）に次の通り薬剤散布と予防活動の徹底を奨励し、特に病虫害の早期発見と早期防除をさけんでいる、現在発生している病虫害は南白土、上平窪、旧市内厚売公社附近などに七町歩のイモチ病と全体の約三割に当る三百町歩に被害度三割ほどのニカメイ虫が発生している

○一生は一年、人間の五十六年と違つて病気が発生すれば治りにくいし、かゝつたら最後絶生しないと思わねばならない、だから早期発見と早期防除が第一である、ところが一般に病虫害が発生すると薬剤を撒布すれば良いとだけ考え、被害水田以来にも気やすめに撒布する人があるが農薬の自給率皆とか農家の経済が思わしくない時かゝる無駄は是正せねばならない

○一要は一日か二日懸きに田を見廻つて、稲が普通の状態と異つていることを予察することが先ず大切だ、農家では病気の種類がわからぬといつて他人まかせにしているようだが、病気が何んであるかよりも状態が普通でないことを発見してスグ市農務課に連絡すれば直ちに対策を講ずる

"眞實に生きる學生"（下）

園部昭弘

秋男には趣味が多かつた。

柔道もやれば、作詩もやる。テニスもやれば油絵も画くといつた風だ。何にしろ器用であつた。

幸いに、秋男の住んでいるこの川前は、山合の部落であるが、夏井川の渓谷があり、滝があり、絵を画いたり、又詩などを作るのには持つて来いの場所だ。

自然の優れた美の環境が、秋男を成長させて呉れたともいい得る

又、学校では同僚や先輩からも親しまれていた。どんなことがあつても挫けない性格が、好かれていたのかも知れない。

それだけに、秋男には責任があつた。この期待を裏切るようなことがあつてはならないからだ。

秋男には、二人だけ心から交際出来る親友があつた。

同クラスの益子謙吉と服部正直だつた。二人とも作詩に余念がない。同郷で小学校も中学校も同クラスであつたことが、三人を結びつけていたのかも知れない。

服部は名前の示す通り正直であつたし、益子も亦、この点について後に落ちるものでなかつた。

汽車の中も一緒だつた。三人の中、一人でも病気になれば互いに見舞つて、激励する位の睦じさになつた。

「秋男君、先日、自分の家に、泥棒が入ろうとしたんだ。」服部が秋男にむかつてこういつた。益子は、「おお、そうか。それはユーモアじやないか。」書きかけの詩を右手に、こんなことをいつた。

秋男は〃ユーモアどころじやない〃と考えていた。

「そして、入らずに逃げたのかい。」秋男は服部を正視して、問き返した。

秋男は此の前の強盗の人相などを想い浮かべていた。そして〃もしかあの覆面強盗じやあるまいか〃とも考えてみた。

「それで、入ろうとしたんだ。すると台所で明日、東京に行く姉が〃キヤツ〃と叫んだので、自分と兄貴が大声で〃こらつ〃とどなつたんだ。すると、そのまま脱兎の如く逃げてしまつたんだ。面白かつたが…」こゝ迄云い終つた服部は何故か口をつぐんだ。

汽車は江田駅を出発して、山亦山の間を縫うようにゆつくりに走つていた。

「うんそうか。たつたそれだけか。」秋男は、つまんなさそうにこういつた。

すると益子が「秋男君、一体どうしたというんだい。馬鹿にしおれてしまつたじやないか。」と問い返した。秋男はたしかに不満な表情を浮かべていた。

「あつ、そうだ。たしかに、あの泥棒は覆面のようなものをしていたぜ。」思い出したように服部はこれだけいつてのけた。

秋男の顔には一瞬、さつと生気がよみ返つた。〃やつぱりあれだならぬ〃秋男は思わず右手のこぶしを強くにぎりしめた。

そして、先日の晩、自分の家にも強盗の入つた一件を二人に話した秋男は、こんなことをいつた。

「社会を明るくする運動に微塵も協力しよう。僕達は学生である。然し、いやしくも社会に害毒を流すような者は見ているわけに行かぬ。あの強盗には思い当たるかも知れない。兎も角、あいつを捕えよう。」秋男はい、終つて瞳を輝かせた。

「よし、賛成だ。社会の明朗化に、互いに頑張ろう。」服部も益子も大賛成だつた。

汽車は、静かに滑るように川前駅に辿りついた。夕陽が赤く、緑の山々は燃えるような、鮮やかな色で、この三人の帰りを待つていた。（筆者は麿匠町一六）

◎全店舊盆中元大賣出し開催中◎　1—6日迄全店七夕セール
愈々舊七夕舊盆を控えて特に大黒屋連鎖店が皆様へ贈る絶對の御買徳品發表!!
東京本染メーカーゆかた最後の原價大奉仕
東京本染メーカー品・一ツ身ゆかた　東京捺染柄・男物ゆかた　大黒屋本店一同に集めての大原価奉仕
全店夏のプリントおつとめ品
綿プリント50円より　リツプル60円より　ブロードプリント78円より　リツプルプリント新柄98円均一
贈つて便利　商品券200円より調整　皆様の利益を謀る店
平本店　平店　金支店　湯本店　小名浜店
大黒屋

圧倒的魅力
麗人ダンサーオールサービス
（美人女性募集中）
毎夜樂團演奏
キヤバレー　フラワー
平　田町　電4

整形外科
外科
内科
金成醫院
金成　桂一
平市鍛冶町二二　電話八二六番

貸事務所
場所　平市駅前大通り三延ビル
問合せ先　三延ビル事務所電二三

夏の装飾と七夕材料の店
七夕用品ならなんでも揃う当店へ…
櫛玉　吹流　完成品種々取揃えました
是非御用命　のほどお待ち申上げております
花取付カゴ御持参下さい
森下玩具店
平市　一丁目電六〇二

外務員急募　委細面談
安藤理容器具店
平市田町並木通り電一三四九

第四回石城酒造品評會
優等賞連續受領
吟香に薫る
天宅
山宗酒造店
平市南町　電三二二

ハリウッド美容室
平・3・二階上・デンワ1327

一位は第五福吉丸
獨航船何れも好成績

北洋から便り

母船式北洋鱒、鱒漁業に従事中の独航船の漁獲高について三十日日本水産函館支社から磐城市小名浜北洋漁業組合への情報（去る二十五日までの成績）によると、同支社宮島丸所属本県独航船五隻はいずれも良い成績をあげ、特に磐城市大字江名字南町六二金成文平さん所有の第五福吉丸五十トンは十一万三千五百四十六尾（紅鮭三三二九三、白鮭六二七二一、鱒一五八二一、銀鮭一四二七、スケ二六四）を漁獲して宮島丸所属独航船二十二隻中の第一位を占めているほか、江名港所属第一開洋丸五十トンは八万六千四百十二尾（紅鮭二六九六〇、白鮭四八六五六など）同港所属第二辰巳丸五十四トンは七万三千四百三十五尾（紅鮭三三四四五、白鮭三八九八九など）中の作港所属第五盛喜丸五十トンは六万四千五百四尾（紅鮭二三二九八、白鮭三三〇二一など）小名浜港所属第五瑞宝丸五十トン八万二百八尾（紅鮭二三八三九、白鮭四七四九三など）をおさめ大活躍している

あす花火大會
四倉夏祭り最高調へ

四倉町の夏まつり行事もいよいよ最高調になって来た、明三十一日は四倉仲町海浜にて花火大会、八月一日海上角力と海浜宝探し、四倉音頭大会、スクエアダンス大会、三十一、一日は臨時列車、臨時バスが繰り出すので相当の人出が予想されている

三十一日は午前八時から五段雷を打上げ、午後一時から四時までの広告花火の時はお客様へ空からの贈り物として広告小旗を拾った方には夕バコ販売協同組合がピース数十個を贈呈する（町内各タバコ店にて引換）なお同町仲町寺岡化粧品店サービスの化粧品贈呈の広告花火などが三時間に亘り打上げられる、午後七時からは尺玉、八すん玉ほか約三百発、仕掛花火四本が打上げられることになった

鹽素ガス被害
第二次 賠償問題を交渉

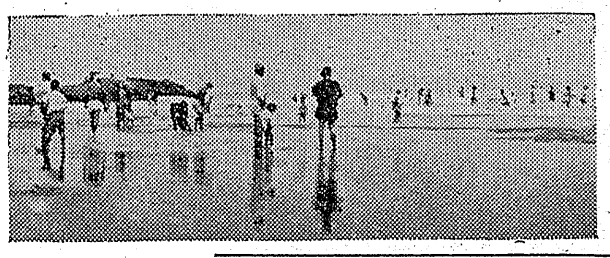
去る十五日錦町呉羽化学錦工場のバルブ破損による塩素流失のため二百八十四町歩にわたる薬害をうけた勿来町の被害田地は、二十八九の両日にわたり調査した石城地方事務所農業改良課員の報告によれば、「田畑とも被害をうけた当初より予想外に回復している」とその後天候に恵まれたのが幸いして稲の分結が相当出ているという一方勿来町対策委員会と会社側との間で三十日午後一時から賠償額決定の第二次交渉が行われたが、勿来対策委員会の被害調査では被害面積中、水田が二百七町歩九反で七割以上三十六町、五割以上六十七町で内訳は七割以上十七町五割以上二十四町九反、三割以上十八町九反となっている、なお地方事務所では両者交渉決裂を前提に調査したところによれば勿来町の被害は当初より相当回復しており、回復の原因は数日来の夏型天候に恵まれたためといわれ、当初の第一葉は塩素のため黒く枯れているが、その分結により第二葉が十—十八本の分結を見せている

側突され負傷

二十九日午前五時ごろ平市字久保町地内県道を自転車で進行中の好間村北好間字椎木平吉井広吉さん（こ）は後から来た自動三輪車運転手好間村大字上好間字石田果物商菅原栄之助さん（さ）に荷掛のところに側突されて転倒、左手、背部などに全治十日間の傷を受けたほかハンドルを破損した、なお自動三輪車は被害なかった

盗んだ手提金庫
放り出し逃走

二十八日午後十一時ごろ植田町字金畑相馬屋飲食店事務竹内喬吉さん宅に推定二十才前後の賊が侵入し店内（在中）一個を掠つ浚って逃走した家人が発見泥棒と騒いだが盗んだ金庫は植田警察署前小路に放り投げ一物も取らず姿を消した



手提金庫（四〇〇円在中）

保健委員會
内郷で設置

内郷市ではこの程県から保健衛生組織モデル地区に指定されたので去る二十六日衛生区長を招き市内の美化運動と傳染病予防の徹底を計るため、市内のジンアイ処理、害虫駆除の諸問題を討議の結果、衛生思想の普及に全力を傾中することになり保健委員会の設置を議決し、会長に江連清明氏を選出、副会長は各方部から四名互選する事になり八月二日午後一時から市会議室で発会式を行う

モモヨ殺し起訴

平市仲町キンツバ屋佐藤モモヨさん（三）殺し殺人容疑で逮捕され拘留中の元接客婦安達郡寛久田村沢田生れ渡辺ナツエ（三）は二丁目地検平支部中村検事係で調べていたが殺人、窃盗容疑で起訴された、公訴事実次の通り

渡辺ナツエは六月二十七日午後七時半ごろ、かつて接待婦として共に働いたことのある平市仲町佐藤モモヨさん方を訪れ同家でモモヨさんとその情夫鬼沢竹男さんのことで痴話口論中翌二十八日午前一時ごろ興奮したモモヨさんが、いきなりナツエの胸部を突いてきたので二人諍共その場に倒れカツとなったナツエは突差に同女を殺そうと決意し仰向けになった同女の咽喉部を両手で強やくし更に同女が鉢巻に使用していた手拭で頸部を絞め、その場でモモヨさんを窒息死するに至らしめた、又犯行後同家押入上段のボール箱内よりモモヨさん所有の紺ギャバジン上衣黒サージスカート各一枚（時価四千円相当）を窃取したもの、なお初公判は十月初旬ごろの予定

暑い話
毎日八百人押し掛く
職を求めてひしめき合う

数日来の夏型気温は寒暖計の水銀を鰻上りに上昇させているが、平職安所前には連日八百名のアブレがたむろしている（失対人夫、日雇紹介適格者は二千四百名）また失業保険金の支払額も水銀同様上昇の一途を示している、同所の失業保険金支払状況は七月二十九日現在は二千四百七十名に対し一千五百二十四万三千余円で、昨年の七月末現在の二千六十七名二千二百二十万五千に比較すれば、支給者で四百名、支給額で三百万円の激増を示し、昨年暮の好景気時に比較すれば人員で四割増（七百名）金額で五割（六百万円）の激増振りを示している

河童の群で勿來は賑う

勿来の海水浴場は毎日数百人の河童の群で大賑いを呈し一日の日曜日はワンサと押しかけ記録的数字を見ることだろう（勿来海水浴場の河童の群れ）

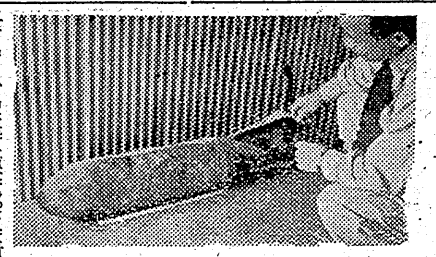
平和會の海水浴

平市平和会（十七区）では来る一日町内の希望者が磐城市永崎浜海水浴に行く宝さがし、フットボール大会などを催し楽しい一日を過す予定

ストに突入
勿來炭鑛勞組

（既報）経費節約金額で会社側と交渉中だった勿来町大日本炭鉱労組は二十九日の交渉が決裂に終り三十日午前五時三十分（一番方）から五日間のストに突入した

海水浴場附近で發見
物騒な五十キロ爆弾



二十九日小名浜海上保安部が厳重に保管した五十キロ爆弾は小名浜港務埠頭管理事務所のはなしによると二十八日午後三時半ごろ橋型クレーンで同港三千トン岸壁東側の南端から北寄りに約六十米、東方沖へ約二・五米附近の海底を浚渫作業中バケットに泥土と一緒に收容したもので人出で賑う小名浜海水浴場は僅か約百五十米と離れていないところなのでさすがのカツパ連もギョッとどぎもを抜かれた、弾口はエボナイトのようなもので止め真管ではないだろうと同事務所では云っているが万一に備え保安部では慎重な態度で取扱っている（写真は物騒な五十キロ爆弾）

習技生が家出
心配の母から捜索願

内郷市高坂町御殿一常磐炭鉱親和寮掃除婦前田なつさん（四七）は伜をさがして下さいと二十八日内郷署に願出た、願によると常磐炭鉱習技生である長男の英夫君は去る十七日午前十時ごろ番段寮のまゝ「ひるすぎに帰ってくる」と実姉のチカ子さんに言つたまゝ姿を見せず同君の部屋から「会社から明日よりくるな」と言われたと悲いてある手紙を発見し職を失つて悲観のあまり姿を消したものと思われ八方さがしたが行方は知れず若し自殺でもしたら大変だと母親なつさんは涙ながらに案じている

剃刀で自殺を圖り危篤

三十日午前六時半ごろ平市仲町元食糧事務所平支所長長沢一郎さん（五七）は自宅で西洋カミソリでノドを切り自殺を図り南町真木医院にかつぎこまれたが生命キトク、原因は生活苦から過度の神経衰弱

白水のハス池
太鼓橋完成
あす渡り初め

内郷市では白水地内にある重要文化財指定の白水阿弥陀堂前のハス池と太鼓橋の改修を去る四月から文化財保護委員藤島千博に設計を依頼して総工費六十二万円で着工して来たが、この程完成したので三十一日午前十時から同地内において市内関係者を招き盛大に渡り初め式を行うことになつた、この太鼓橋は幅二米全長三米の小規模なコンクリート製太鼓橋で欄干は朱塗の優雅なもので、ハス池も周囲百米に松クイをうちこみ自然石をつむなど日本古来の庭園芸術の美を表したものである

暴行

常磐市大字松久保字手倉二〇常磐炭鉱鹿島鉱聯絡支社

共立の増築
きょう上棟式

磐城市共立病院（管理者高木武一郎氏）の増築病棟上棟式は三十日正午から同院で行われた、増築病棟は二十八年度厚生年金積立金還元融資一千万円を工費として二階建一棟（建坪二百四十坪）の一般病棟が建設されるもので、收容人員百名といわれ九月末完成が予定されている

ななはま

▼話はちょっと旧聞になるが去る十四日、オカに上った常磐炭仕事を無事に果して鉱川平区採炭補手酒井大助さん（三七）仮名—は酒が大好物▼朝から上り酒の美味さにぐいぐいやったところ酒はどんどん五臓にしみわたり遂にメイティ、スイガンモウロウとなった途端▼側にあった液体DDTを何とかんちがいしたかのんでしまつていゝ気持になつて夢心地▼生命には別に異状はなかったがのんだ本人よりはたの人は大騒ぎだった

◇　◇

▼あつさにうだる二十九日の昼さがり平市仲田町じゃんがら本舗みよしにあつたナンセンス▼「梅干をみせて下さい、いくらかは梅の香りがしますか、すつぱいのですか」と矢継早な御質問をした年ぱいの紳士▼応待に出た女店員目を白黒、何と説明してよいやらまさに汗が流れると云うハナシのお粗末

夫本田明夫（三）は去る六月二十日午後六時ごろ市内三函三〇二中央パチンコ店で遊戯中玉が出ないとどなり側にいた店員石井八重子さん（三）にジヨウゴを投げつけ更に文句を言うなと顔面をゲンコツで数回殴打したゝめ全治約一週間の打撲傷を負わせたので暴行容疑で二十八日常磐署から書類送検

乳幼児検診
内郷市の日程

内郷市福祉事務所では市内の乳幼児検診を次の日程で行う（毎日午前九時から午後三時まで）

▼三十日官保育所▼三十一日御厩保育所▼八月四日高坂方部

吉葉山一行大相撲御招待
大相撲予定期日 8月23日
平市三十米突當り南側
全国市場中元大売出し
8月2日 ▶ 11日
1000圓御買上げ毎に1名様御招待
100圓御買上げ毎に補助券1枚進呈
（10枚で1名様入場出來ます）
平市内の商店はどなたでも
賣出しに加盟出來ますから
出來るだけ多數御參加下さ
るようおすすめいたします
詳細は平商工會議所内
平市商店會連合會事務局へ
お問合せ下さい

いわき民報　（第三種郵便物認可）

定価一部[illegible]円（日刊除日曜）1カ月金100円郵送126円

大當り「ローマの休日」

淀川長治

来月四日新装開館する平市聚楽館が上映する「ローマの休日」について、映画の友編集長淀川長治氏は本社に左のような手記を寄せ、お馴みの平の映画ファン各位によろしくといつてきた、実は開館記念に淀川氏の講演会を企画したのだが同氏の身体がどうしても都合がつかないのでこの寄稿をよせられたもの（写真は淀川長治氏）

いまさら此の映画の批評なんど書けなくなつてしまつた…と云いたい程これは馬鹿当りしてしまつた。東京での封切の際には、その劇場創立以来の記録を立ててしまつたし、聞くところによると地方の映画館で破産一歩手前、これを上映してその館は立直れたという話もある。パラマウントは日本のこの大当りに吃驚した。製作費の三分の一を小国日本であげちまつたからである。

それでは何がこれの原因か。これも諸々方々でセンサクしていたので今更でもあるまいが、この「ローマの休日」の日本封切への道順が非常によかつた。

ニューヨークのラジオ・シティ・ミュジック・ホールで、ひそかにその当時御旅行中の皇太子が、実は上の大劇場のスティジ・ショオを御覧になるつもりで、丁度上映中の「ローマの休日」を御覧になつてしまわれた。おつきの人たちが実演の舞踊が終つた時、御帰館をうながしたが「僕は映画も見ます」と仰せられた。流石にものものしい御つきの立ちふるまいに劇場の客席は、あの若い紳士は誰であろうと騒ぎだしたらしい、そして日本のプリンスと知るやヒザを叩いて喜ろこんだり感心したそうである。米人記者の一人は、日本はなかなか洒落たお国だと「ローマの休日」の物語と皇太子の御外遊中とを思い合せてホホウと目をむいたそうだ。

これはニュースになつて日本紙にも紹介された。御つきの御連中は恐らく帰日ごろ、映画には余り御縁のない御家族であろうが、これまたアメリカの旅の便りにこの映画の名が記されたに違いない。更にまた一般大衆ことに善良なる市民におきましては、やはりプリンスが御覧になつた、という事実は大きな魅力であろう。「ローマの休日」は先ずかくして思わざる方向から宣伝がしみこみだして、さてこれについで最近の夏空の異様な光を放つ火星以上輝きをもつてオードリイ・ヘツプバーンが登場、ヘツプバーン髪型が此れに決定的な流行の神がかりを生んであれやこれやで「ローマの休日」は一目見なけりゃ話にならん映画になつちまつた。

さて、このオードリイの人気であるが、此れがまた「みんなが大いにいい女優だ」と云える要素を備えていた。モンロー・ブルリンコン・ウオークもいいが、まさかお嬢さんやパパ、ママまでこれを騒ぎ立てはできまい、と云つて「君の名は」のマチコでは余くもつてハイカラさが不足している。

そうなるとオードリイは御趣味といたしましてタテから見てもヨコから見ても安全健康、しかもアメリカのハイカラと欧洲のパレエのふん囲気を濃し、まことにソフイスティケイション・スキートだ。

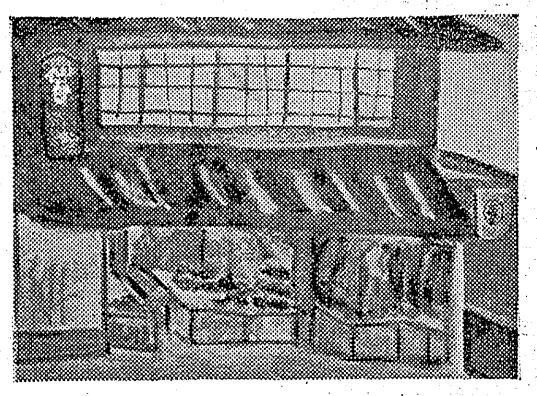
ところがバンカラ学生に於きましてはウイリアム・ワイラア映画である。ワイラアを語るに何ぞ「ローマの休日」をミスしてなるものそであろう。めでたいことである。「ローマの休日」万歳である。

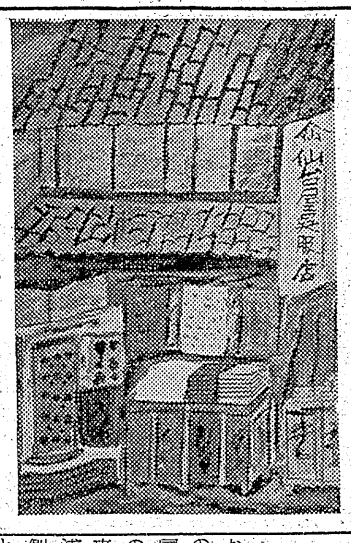
常磐教育委員長

常磐市教育委員会ではこの程同市公民館で第一回社会教育委員会を開催し、ひらき役員改選の結果委員長には比佐栄一、副委員長に滝義雄の両氏が選任された

仙台屋呉服店

右は平一小六年　渡邊　健
左は平二小六年　卯木美江





南會の仙境（下）

『只見』の思い出

樫村清

初鰹が来たから夕飯に来いと招かれホホと感心したものだ。雪国の事とて果樹は何もない。雪は我国随一だ、普通雪の多いのは越後の高田と云われるが、日本海から来る水蒸気をはらんだ雲が県境の浅草岳連峰に触れて雪となり、西側が高田地方東側がこの只見地方となるわけだが、果村只見の積雪ははるかに高田より多く、私の居た年は一丈二尺積つた。

踏み固つた歩道を辛くも歩むのだが、雪線が頭に触れて帽子をとられる。一歩踏みはずせば丈余の雪の中に埋まる危険がある。屋根の雪を落さぬと家のつぶれる恐れがある。案内は薄暗く、便所には提灯をつける騒ぎだ、各戸には中二階があり、こゝから外へ出入する事も珍らしくない。時折山の雪崩（なだれ）がある。一町位の幅で半里も流れたのを見たが、縦尺余の大木が皆折れている、すごい力のあるものだ。

十二月になると遠く通う四年以上の生徒は皆学校に寄宿する、米と味噌と大根を持参する、外に副食物としてないこの粗食、それで皆人一倍健康なのだ。三年以下の生徒の為に部落毎に特別分教場を開設する。生徒七人に先生一人という処もあつた。先生といつても村の青年団の幹部等が臨時に先生となるのだ。

雪のある十二月から四月一つぱいの村の人々は蠶細工の外何の仕事もない、然もその蠶細工も自家用のものだけだから実にゆうゆう閑々たるものだ。

何の娯楽もない、映画は年に一回だけ学校で映写したのがあつただけだ。青年は好学心に燃えている。夜学の外に特別朝食前にやつてくれと申込まれ、止むなく柄にもない論語の講義もした。女の夜学もやつた、女が夜遅くは帰れないので学校近くの親戚の家に泊りがけで一里半の道を通う者もある熱心さであつた。

此処は県内一の山奥で北の磐城西線野沢、東の会津線田島の両駅から共に十七里、徒歩二日間の行程である。只見川流域はダムで水没する今問題の田子倉部落までは道路があるが、その上流十数里水源地尾瀬沼までは人の歩ける道もなく全くの未開地で国有の原始林境故いろいろの物語りが傳えられている。最も人に信ぜられるのは以仁王の遺跡だ。

今を去る七百七十年の昔、治承三年の夏、源三位頼政と共に平家討伐の軍を起した以仁王は戦利あらず宇治の平等院で敵の流れ矢に当つて戦死されたことになつているが、この傳説によると、以仁王は遠くこの山里に遁れられたのだ。

戦い破れた王は逃げのびて日光の奥戦場ガ原から尾瀬沼に出た、この尾瀬の地名は王の後者尾瀬中納言の沼守りの娘との美わしくも哀れな恋物語りにちなんで、後人が名づけたものだという。王の一行は尾瀬中納言をこの地に止めて更に後年平家の落ち人の里といわれる檜枝岐から大宮に至つた。こゝに有名な険阻な駒止峠があり、よろい掛けの松がある。王が駒を止めて休み、よろいを解いて憩うたゆかりの名である。

更に十余里の西、此処只見の地朝日村から只見への入り口、只見川の渡し場で、王はこゝから新潟県境に聳える浅草岳の夏なお白雪残る美しい山容を眺められ

都路の人に見せばやみちのくの
浅草岳の峯の白雪

と詠ぜられた。

傳説は此処で消えている。この地に止まられたとも、更に田子倉を経て五十里越の峠から越後路へ逃げられたとも傳えられ定かでない。

異動

平署四倉派出所管野長栄刑事は三阪村駐在所に、同所檜山剛巡査は平署パトロール課に勤務を命じた

今晩のラジオ

30日

◇NHK二三六〇KC
6・00（郡）ラジオ文芸
6・20 黄金のいす「鈴木正夫」シヨウ
6・40 演芸独演会　春風亭柳橋
6・45 ラジオ喫煙室　森繁久彌
6・55 劇「自出度し」
7・10 ラジオ福島一〇六〇KC
7・20 ラジオ演芸欄
7・30 歌のデパート
8・00 たん子たん吉影道中
8・30 素人歌合戦
9・00 リズムに乗せて
9・30 お笑い回り舞台
10・00 ポルテニア音楽
10・15 名作「エデンの海」
10・45 音曲興合船　勝太郎ほか

今週の映画

各館とも三日まで

★平館　夜七時十分
蟲籠君上京す　美男天狗党
★民劇　夜六時四十分
アラゴンの城塞　廿日鼠と人間
★楽楽館　近日開館
（ローマの休日）
★ひかり座　夜六時五十分
水滸の花嫁　荒神山
★世界館　夜六時三八分
里見八犬傳（完結篇）一本刀土俵入　母時鳥

カメラは田中

明治天皇は竹屋じ徙を差遣されたがじ徙この傳説を調査させられたが「単なる口碑傳説に止まり、文献の徴すべきものなし」と奏上され、そのまゝになつたが、真偽はとも角傳説として永く傳わるであろう。

静かな山、平和な人々、夢多い傳説の仙境にも似たこの只見の地一年間の思い出は深くなつかしい。

さあれ、今電源開発の科学の力は、日本最大の田子倉ダムの巨工を見んとし、建設の槌音高く、床しい山村の形態を、あの美しい山容をさえ一変しようとしている。夢幻の世界から現実へ、げに時代の力は偉大である。（筆者は前植田町議長）

靴は吉田屋

7月31日から8月8日まで
中元大売出し
御贈答好適品と夏の必需衣料品を豊富に取揃えました

リツブルプリント	120圓を	80圓
MKプリント	100圓を	75圓
優良ギンガム	75圓を	45圓
純毛格子トロピカル	950圓を	420圓
大人丸首シヤツ		60圓より
婦人肌着		70圓より
婦人リツブルワンピース		650圓より
子供ブロードワンピース		200圓より
婦人ブラウス		260圓より
優良敷布		200圓より
KUブロード開襟シヤツ		480圓より

便利な商品券を御利用下さい

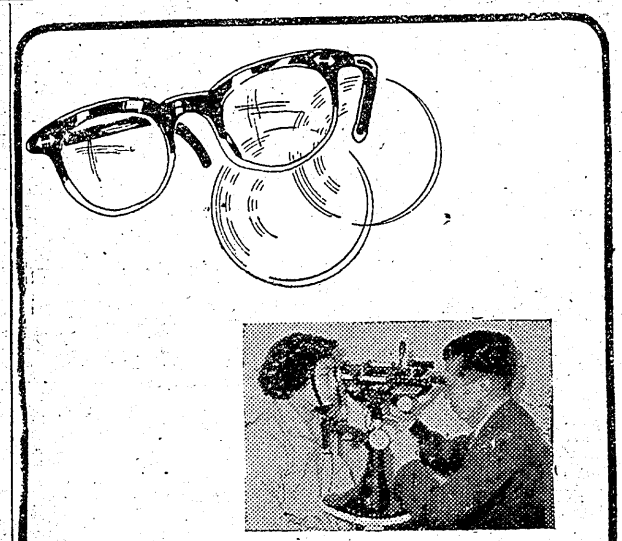
衣料品のデパート
鈴藤

夏のニユースタイル
新型紳士服、婦人服　洋品
各種入荷
鈴木勘呂商店
第1平市一丁目電1638第2平和通り電732

誰方でも安心して使える
ふくふく綿
2丁目　平製綿KK　電748 1958

時計の店
根本
平2電607

新しいPPは富士



科學的検眼　レフラクトメーター設備
眼鏡専門店　松本
平市一丁目26電1851

歯科一般
森合歯科醫院
診療所　植田町本町電　七一
自宅　植田町後宿電　一七七
院長　森合芳男
副院長　森合通雄